

2024年度

総 会 議 案 書

【日時】 2024（令和6）年5月25日（土）

午前10時00分

【場所】 川越市立博物館 視聴覚ホール



かわごえ環境ネット

総 会 次 第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
 - (1) 議案第1号 2023年度事業報告
 - (2) 議案第2号 2023年度決算報告及び会計監査報告
 - (3) 議案第3号 役員の改選
 - (4) 議案第4号 2024年度事業計画
 - (5) 議案第5号 2024年度予算
5. 議長解任
6. 閉会

議案第1号
2023年度事業報告
1. 主な事業

事業一覧

年 月 日	事業内容
2023年 4月 10日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
11日(火)	池辺公園定例活動
24日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
29日(土)	春の里山 自然観察&クリーン活動
5月 1日(月)	広報かわごえ環境ネット2023年5・6月号(No.191)発行
8日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
9日(火)	池辺公園定例活動
22日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
27日(土)	2023年度総会 川越市立博物館視聴覚ホールにて(出席18名・委任92名:計111名)
6月 4日(日)	川の一斉水質調査
12日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
13日(火)	池辺公園定例活動
17日(土)	社寺林の観察会
26日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
7月 1日(土)	広報かわごえ環境ネット2023年7・8月号(No.192)発行
9日(日)	キノコの観察会
10日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
11日(火)	池辺公園定例活動
17日(月)	夏の郊外クリーン活動
24日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
26日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
8月 5日(土)	虫の観察会
8日(火)	池辺公園定例活動
23日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
9月 1日(金)	広報かわごえ環境ネット2023年9・10月号(No.193)発行
11日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
12日(火)	池辺公園定例活動
23日(土)	小畔川魚とり遊び
25日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
27日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
30日(土)	生き物観察会

年 月 日	事 業 内 容
10月 1日(日)	アースデイ川越in昭和の街2023出展
7日(土)	川越まつり会場事前クリーン活動
9日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
10日(火)	池辺公園定例活動
23日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
25日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
11月 1日(水)	広報かわごえ環境ネット2023年11・12月号(No.194)発行
5日(日)	キタミソウ観察会
13日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
14日(火)	池辺公園定例活動
18日(土)	2023森フェスin川越
27日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
29日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
12月 11日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
12日(火)	池辺公園定例活動
20日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
24日(日)	歳末まち美化活動
2024年 1月 1日(月)	広報かわごえ環境ネット2024年1・2月号(No.195)発行
8日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
22日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
31日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
2月 3日(土)	「蘇れ生命の力～小児科医 真弓定夫～」映画上映会
12日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
13日(火)	池辺公園定例活動
24日(土)	第22回かわごえ環境フォーラム
28日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会
3月 1日(金)	広報かわごえ環境ネット2024年3・4月号(No.196)発行
11日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
12日(火)	池辺公園定例活動
23日(土)	川越の植物を訪ねて
27日(水)	川越市環境計画見直し意見交換会

【会議】	理事会	11回開催
	広報委員会	12回開催
	社会環境部会	9回開催
	自然環境部会	11回開催
	事業運営委員会	12回開催

2023年度事業報告

2. 総括及び全体事業

2023年度は、5月8日からの新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に合わせて「新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針」を廃止し、2020年度から実施を控えていた懇親会を5月25日の総会后に復活させて実施しました。他の活動もおおむね予定通り実施することができました。

本会が川越市と市民、事業者、事業者の協働を推進する役割を担っている「第三次川越市環境基本計画」と「川越市環境行動計画（平成29年2月改定）」の目標年度は令和7年度（2025年度）、国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）の目標年は2030年、日本としてのカーボンニュートラルの達成は2050年となっています。これに対応するため、新たな取組として7月26日から「川越市環境計画見直し意見交換会」を実施して今後の川越市の環境政策や環境行動のあり方を検討しており、年度末に「第四次川越市環境基本計画策定に向けた提言」をまとめました。また、社会環境部会が主体となり、7月から10月にかけて、霞ヶ関北自治会と協働して「かすみがせききた環境対話カフェ」を実施し、地域における環境への取組を住民目線で共有する話し合いを行いました。

これまでの最大規模である190名を超える会員を維持している一方で、組織運営に携わる人材は不足しており、特に社会環境部会では運営体制の見直しが必要な状況となっています。アフターコロナの状況で会議等の形態もオンラインが活用されている状況にあり、広報委員会は原則オンラインでの会議となっています。社会環境部会も、育児や仕事と両立でき、多様な会員が運営に関わりやすい運営体制が求められています。

以下に、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすること」に基づいて、以下に5つの事業について、全体事業を中心とした2023年度の具体的な事業報告を記します。

- (1) 【交流事業】2024年2月24日に「第22回かわごえ環境フォーラム」をウェスタ川越で開催し、午前の部は「かわごえ環境活動報告会」として、市民、民間団体、大学から8件の環境活動報告と本会の社会環境部会と自然環境部会の活動報告があり、それぞれの活動について参加者間で情報共有することができました。午後の部は、「持続可能な社会の川越STYLE」というテーマでワークショップを実施しました。まず、前回のワークショップの振り返りを行い、続いて本会が2023年度に実施した「かすみがせききた環境対話カフェ」の成果報告と「川越市環境計画見直し意見交換会」の経過報告をした上で、4つのグループに分かれて「持続可能な社会の川越STYLE」を考え、各グループが話し合った結果を発表してアイデアを紡ぎました。参加者は午前、午後合わせて60名となり、前回と比較すると少ない人数でしたが、その分充実した話し合いの場を作ることができました。

前年度に新規事業として実施した（仮称）川越市森林公園計画地における新たな形態の森林活用事業を「2023森フェス in 川越」として11月18日に実施しました。参加者は前回より少なく60名余りでしたが、その分「布芝居の読み聞かせ」「ぶんぶんゴマ」「ドングリトトロ」「落ち葉のステンドグラス」「年輪パズル」「バイオリンと歌」など、さまざまなアクティビティを参加者にじっくりと体験してもらうこ

とができました。

5月25日の2023年度総会后、4年ぶりに「懇親会」を初雁公園内で実施し、注文したお弁当を食べながら、参加者同士の懇親を深めることができました。

- (2) 【普及・啓発事業】地域のごみ削減による環境改善と持続可能な開発につながるライフスタイルの普及に資する「クリーン活動」については、主管を事業運営委員会から社会環境部会に移行させた上で4月29日の「春の里山 自然観察&クリーン活動」、7月17日の「夏の郊外クリーン活動」、10月7日の「秋のクリーン活動」、12月24日の川越中心市街地における「歳末まち美化活動」の計4回を予定通り実施し、それぞれ24名、39名、59名、58名の参加者がありました。この活動は、特に事業者の環境活動の場として重要な役割を果たしており、定期的に参加していただいている事業者もあります。

10月1日開催の「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」は、11月実施の「森フェス in 川越」の宣伝も兼ねて、森の手入れで発生した間伐材や採れたどんぐりを用いた木工ワークショップを出展しました。来場者がとても多かったため用意した材料が早い時間になくなってしまいました。

川越市（環境政策課）が主催する環境月間ポスターコンクールにおいて、小学生の部2点、中学生の部1点の「環境ネット賞」を選定しました。

各専門委員会において講演会、勉強会、対話などの公開行事を開催し、関心の高い環境問題に対する意識向上や啓発を図りました。詳しくは各専門委員会の報告をご覧ください。

本会会員が広報かわごえ環境ネットへの報告記事やコラムを通じて、環境行動に関する普及・啓発を図りました。詳しくは広報委員会の報告をご覧ください。

- (3) 【調査・研究事業】5月末から6月始めにかけて、川越市内河川における「川の一斉水質調査」を流域団体の参加団体として実施し、20地点の水質調査を実施しました。

専門委員会において自主的な調査・研究・保全活動を実施するとともに、「かわごえ生き物調査」など、川越市が実施する環境調査に協力しました。2月には12年間のチョウの調査結果を「チョウから見える川越の環境－2011年～2022年の記録－」にまとめ、刊行しました。

「川越市環境行動計画」の推進のため、「環境に配慮した行動（チェックシート）」を、大学生とかわごえ環境フォーラムの来場者に対して実施しました。

新規事業として、「川越市環境基本計画」「川越市緑の基本計画」「川越市環境行動計画」などの環境計画の見直しに向けて意見交換や提言を行う「川越市環境計画見直し意見交換会」を7月から3月まで9回実施しました。

- (4) 【学習支援事業】学校の環境学習支援については、4月29日に（仮称）川越市森林公園計画地において行われた「春の里山 自然観察&クリーン活動」と並行して、埼玉県立川越女子高等学校、越谷北高等学校、熊谷高等学校の生物部の生徒の観察会を実施して生徒らを案内しました。生徒の昆虫等に対する観察眼の鋭さに驚かされました。

- (5) 【広報・情報事業】広報紙として「広報かわごえ環境ネット」を隔月刊で年6回発行し、情報の蓄積と共有を図りました。また、「会員限定メールサービス」の利用者

の拡大とともに、迅速に情報を伝えるメディアの特性を生かしてメールサービス限定の情報発信を行いました。公開情報は、Web サイト及び SNS などの Web サービスの活用により、情報のデジタル化と会員内外への迅速な情報伝達を行いました。詳しくは広報委員会の報告をご覧ください。

2021年2月に発行した設立20周年記念出版「新訂版 川越の自然」の頒布を継続して行ってきましたが、発行から3年が経過したこともあり、デジタル化による公開を行うことにしました。

第22回かわごえ環境フォーラム『かわごえ環境活動報告集』をフルカラー版で本文102ページにまとめ、300部発行し、川越市民や団体の環境活動の情報集成を図るとともに、電子データをWebサイト上に公開して広く情報を伝えることができるようにしました。

川越市が発行する『令和5年度版 かわごえの環境（第7号）』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動（チェックシート）」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載しました。

3. 広報委員会

2022年1月より8ページフルカラー印刷に体裁を一新した「広報かわごえ環境ネット」も早いもので2年間のサイクルを超え、2023年5・6月（No.191）から2024年3・4月号（No.196）まで6号発行しました。各発行部数を500部として、郵送希望の会員に毎号送付するとともに、公民館など川越市の公共施設のラックに置いて会員外の方にも読んでいただけるようにしました。

紙版での発行とともにPDF版のファイルをWebサイトに掲載し、「会員限定メールサービス」利用者に送付しました。2023年度末のメールサービス登録者は194会員中93会員となり、前年度末より5名増加しました。また、郵送不要としている会員は59会員となっています。

Webサイトの運営とともにソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）のFacebook、X（旧Twitter）、Instagramを活用し、本会並びに会員の情報を広く社会に発信することに努めました。なお、広報かわごえ環境ネットの報告記事は「note」に掲載しておりますが、作業時間が確保できず、2023年7・8号以降は休止状態となっています。また、YouTubeは新規に掲載する情報がありませんでした。

広報かわごえ環境ネットについては、社会環境部会が担当するコラム「社会と環境について思うこと」を第23回から第26回までの4回、「かわごえ環境STYLE」を第9回の1回掲載しました。また、自然環境部会が担当するコラム「自然を訪ねて」は、第9回から第14回までの6回掲載しました。また、報告記事として本会の活動報告、会員・関係団体の活動の掲載に努めました。

4. 社会環境部会

2023年の社会環境部会では、例年実施してきたクリーン活動に加え、新規活動として「環境対話カフェ」、自主上映会を実施しました。地域環境をよくしていきたいという市民活動も時代の流れから、過渡期にあると感じます。気候変動・脱炭素社会・生物多様性の保全など大きな環境課題に対して、私たちも新たな視点と柔軟な発想から、このまちでできることを展開してきました。

【2023年度の社会環境部会の活動】

No	活動内容	実施時期
①	【かすみがせききた 環境対話カフェ】	
	第1回 聞いてみよう 気候変動アクション	6月11日(日)
	第2回 歩いてみよう 霞ヶ関北地区	7月9日(日)
	第3回 考えてみよう 気候変動アクション	9月10日(日)
第4回 伝えてみよう 気候変動アクション	10月22日(日)	
②	【クリーン活動】	
	第1回 春の里山 自然観察&クリーン活動	4月29日(土)
	第2回 夏の郊外クリーン活動	7月17日(月)
	第3回 川越まつり会場事前クリーン活動	10月7日(土)
第4回 歳末まち美化活動	12月24日(日)	
③	【上映会】「蘇れ生命の力 ～小児科医 真弓 定夫～」	
	映画上映会 感想会	2月3日(土) 3月23日(土)

【コラム】社会と環境について思うこと

- (23) 私の体感から地球温暖化を考える [2023年5・6月号 No.191]
(24) 蔵造りの「壁」 見方と見え方 [2023年7・8月号 No.192]
(25) いのちと環境～7代先を考えて～ [2023年9・10月号 No.193]
(26) 虫の声が聞かれない [2023年11・12月号 No.194]

【コラム】かわごえ環境 STYLE

- (9) 川越 Farmer'sMarket 発足10周年を迎えて [2024年1・2月号 No.185]

5. 自然環境部会

自然環境部会は「生物多様性保全」をメインテーマとしており、SDGs や地球温暖化防止につながる自然の保護・再生の活動をしています。2023年度は市内全域の生き物調査に力を入れました。また、2020年1月に始まったコロナ禍も2023年5月8日に5類移行となり、従来での行事のありようが復活してきました。市と共催の観察会・イベントや全体事業の協力など多くの成果がありました。

(1) 行政とのパートナーシップについて

川越市の生き物調査が 2017 年から始まり、データ提供などの協力をしました。市と共催の講座「虫の観察会」8/5(土)は「(仮称)川越市森林公園」計画地で、昆虫の専門家佐々木英世氏を講師に実施しました。「生き物観察会」9/30(土)は川越水上公園で親子の参加者を迎え、活発な虫取りをしました。市主催「古谷湿地さかな観察会」10/21(土)に協力しました。講座「かわごえの植物をたずねて」2024/3/23(土)(講師:牧野彰吾氏参加者15名)は、初めに「埼玉県内における外来植物が在来植物の分布に与える影響」というお話があり、外来種が在来種を駆逐しているというのはあたらぬのではないかとの見解でした。次いで、「(仮称)川越市森林公園」計画地の中をウォッチングしました。咲き始めたスマレの仲間、花が20以上咲いているシュンランの鑑賞なども行い、今回も中身の濃い講座でした。また、環境政策課みどりの担当から今年度の生き物調査の報告がありました。(市主催、環境ネット協力)

(2) 調査活動について

「(仮称)川越市森林公園」計画地・池辺公園では毎月定例での動植物調査を行いました。市内の定点調査として寺尾調節池・新河岸川河川敷・川越水上公園・安比奈親水公園・仙波河岸史跡公園などの生き物調査を実施し、新たに絶滅危惧種も確認されました。また、環境ごとのまとめりとして河川流域なども実施しました。2023年度は昆虫データの集積をめざし精力的に網を振りましました。この中でチョウに関するデータを解析し、冊子「チョウから見える川越の環境」(40ページ、オールカラー)を200部刊行しました。

(3) 保全再生活動について

「(仮称)川越市森林公園」計画地・池辺公園では在来種や絶滅危惧種などの保全再生活動を毎月定例で実施しました。また団体会員である「川越フォレストクラブ」は動力経験者が多く、自然環境部会メンバーと協力して保全作業にあたり、効率的に手入れができました。

(4) 自然観察会

一般市民に川越の自然を楽しみながら知ってもらうために、「(仮称)川越市森林公園」計画地で「キノコの観察会」、喜多院・中院で「社寺林の観察会」を実施しました。また、「田んぼの生き物調査」を「かわごえ里山イニシアチブ」と、「キタミソウ観察会」を埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部とそれぞれ共催で実施しました。さらに、市主催の「古谷湿地さかな観察会」に協力しました。

(5) イベント

「小畔川魚とり遊び」は9/23(土)に実施しました。毎回希望者の多いイベントです。「2023森フェス in 川越」は自然環境部会も全面協力しました。

(6) 学校教育支援

自然環境教育の一環として例年、数校の小学校の自然学習支援を行っていましたが、コロナ禍で途絶えました。昨年度は川越女子高校、越谷北高校、熊谷高校の生物部の生徒さんを4/29(土)「(仮称)川越市森林公園」計画地にご案内しました。

(7) 研修会・勉強会

「第四次川越市環境基本計画策定に向けた提言」に関して生物多様性保全について議論し、提言の内容を検討しました。

イネ科の研修会を牧野彰吾氏を講師に2回実施しました。

2023年度 自然環境部会活動実績

表中【定】池辺 は池辺公園定例活動 毎月第2火曜日

【定】川森 は「(仮称)川越市森林公園」計画地 定例活動 第2、第4月曜日

年	月	実施項目	備考	
2023年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 植物調査 4/11(火) 植物調査 10名参加 ・【定】川森 植物調査 4/10(月) 参加者21名、4/24(月) 参加者19名 ・「春の里山 自然観察&クリーン活動」 4/29(土) 参加者・スタッフ計24名 	一般対象	
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 植物調査 5/9(火) 9名 ・【定】川森 植物調査 5/8(月) 11名、5/22(月) 18名 ・生き物調査 小畔川流域 5/21(日) ・生き物調査 川越水上公園5/13(土) 宝来地区4/18(火) 		
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 保全活動 6/13(火) 8名 ・【定】川森 6/12(月) 3名 昆虫調査6/26(月) 19名 ・「社寺林の観察会」喜多院・中院6/17(土) 参加者21名 ・生き物調査 九十川沿い 6/24(土)参加者5名 ・川の一斉水質調査 6/4(日) ・イネ科研修会 6/23(金)ウエスタ川越 講師：牧野彰吾氏 参加者13名 	一般対象	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 植物調査 7/11(火) 猛暑のため中止 ・【定】川森 保全活動 7/10(月) 17名、7/24(月) 15名 ・「田んぼの生き物調査」 7/1(土) 「かわごえ里山イニシアチブ」と共催 ・「キノコの観察会」7/9(日) 川森 参加者23名 ・生き物調査 大東グラウンド周辺入間川沿い 7/20(木) 参加者5名 ・生き物調査 安比奈親水公園7/7(金) 参加者9名 	一般対象 一般対象	
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・「虫の観察会」8/5(土) 川森 市と共催 参加者15名 ・【定】池辺 植物調査 8/8(火) 8名 キツネノカミソリ開花調査 	一般対象	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 入間川左岸生き物調査 9/12(火) 8名 ・イネ科研修会 9/1(金)ウエスタ川越 講師：牧野彰吾氏 参加者12名 ・生き物調査 9/15(金) 安比奈親水公園 ・【定】川森 植物調査 9/11(月) 15名、昆虫調査9/25(月) 17名 ・「小畔川魚とり遊び」 9/23(土) 参加者29名、スタッフ8名 ・「水上公園生き物観察会」 9/30(土) 市主催協力 参加者8名、スタッフ9名 	一般対象 一般対象	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 保全活動 10/10(火) 6名 ・【定】川森 植物調査 10/9(月) 雨中止、10/23(月) 20名 ・生き物調査 寺尾調節池10/5(木) ・古谷湿地さかな観察会 10/21(土) 参加者10名 市に協力 	一般対象	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 保全活動 11/14(火) 8名 ・【定】川森 森フェス準備 11/13(月) 20名、保全活動11/27(月) 11名 ・「キタミソウ観察会」11/5(日) 伊佐沼 21名 生態系支部と共催 ・「2023森フェスin川越」 11/18(土) 自然環境部会よりスタッフ21名 	一般対象 一般対象	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 保全活動 12/12(火) 雨中止 ・【定】川森 保全活動 12/11(月) 15名 		
	2024年	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 休止 ・【定】川森 計画話し合い 1/8(月) 14名 保全活動 1/22(月)15名 	
		2月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 北本自然観察公園バードウォッチング 2/14(水)14名 ・【定】川森 保全活動 2/12(月) 15名、2/26(月)雨中止 ・かわごえ環境フォーラム 2/24(土)「持続可能な社会の川越STYLE」 ・報告集「チョウから見える川越の環境」40ページ 200部発行 	一般対象
		3月	<ul style="list-style-type: none"> ・【定】池辺 保全活動 3/12(火) 名 アズマイチゲ開花数 ・【定】川森 保全活動 3/11(月) 名 ・「生物多様性講座」～川越の植物をたずねて～ 3/23(土) 川森 講師：牧野彰吾氏 	一般対象

議案第2号 2023年度決算報告及び会計監査報告(案)

収入					単位:円
項	目	予算額	収入済額	差引	説明
会費		247,000	221,000	△ 26,000	
	年会費	247,000	221,000	△ 26,000	個人:1,000円×118人 民間団体等:2,000円×45団体(合計:163) 過年度分:13,000円
負担金		16,000	21,838	5,838	
	参加者負担金	16,000	21,838	5,838	自然観察会、森フェスin川越参加者負担金
補助金		360,000	360,000	0	
	川越市補助金	360,000	360,000	0	川越市補助金
協賛金		100,000	100,000	0	
	協賛金	100,000	100,000	0	協賛金 25,000円×4者 (バイオニア㈱、㈱環境総合研究所、初雁興業㈱、武州ガス㈱)
繰越金		232,540	232,540	0	
	繰越金	232,540	232,540	0	2022年度より繰越
諸収入		35,002	54,542	19,540	
	預金利子	2	2	0	
	雑入	35,000	54,540	19,540	冊子売上49,540円(新訂版「川越の自然」売上700円×54冊、編集委員買取500円×7冊、郵送費240円、「川越の自然を訪ねて きのこ編」500円×16冊) 寄付金5,000円(川越女子高等学校から賀登理事への謝礼)
助成金		0	0	0	
	助成金	0	0	0	
	合計	990,542	989,920	△ 622	

支出					
項	目	予算額	支出済額	差引	説明
事業費		866,000	820,163	45,837	
	報償費	216,000	148,000	68,000	講師謝金
	旅費	3,000	0	3,000	
	需用費	410,000	453,786	△ 43,786	かわごえ環境活動報告集印刷130,600円、広報紙印刷85,567円、 クリーン活動腕章72,600円、「チョウから見える川越の環境」印刷48,530円、 自然保全活動用鋸27,599円、森フェスin川越消耗品費等24,020円、他
	役務費	140,000	126,577	13,423	広報紙送料100,072円、森フェスin川越・クリーン活動保険料10,977円 他
	使用料及び賃借料	97,000	81,800	15,200	映画上映会上映料33,000円、かわごえ環境フォーラム会場23,100円、 森フェスin川越会場使用料20,000円 他
	備品購入費	0	10,000	△ 10,000	魚とり遊び用手網購入費10,000円
事務費		32,000	14,823	17,177	
	旅費	2,000	0	2,000	
	需用費	1,000	0	1,000	
	役務費	20,000	6,300	13,700	はがき代
	負担金	9,000	8,523	477	加盟団体年会費
予備費		92,542	0	92,542	
	予備費	92,542	0	92,542	
	合計	990,542	834,986	155,556	

(収入済額) 989,920円 - (支出済額) 834,986円 = 154,934円 (2024年度へ繰越)

上記のとおり決算報告いたします。

かわごえ環境ネット
理事長 小瀬 博之

会計監査報告

2024年4月18日に2023年度かわごえ環境ネットの会計監査を実施したところ、適正に執行されていたので、ここに報告いたします。

2024年4月18日

かわごえ環境ネット
監事 松岡 壽賀子

議案第3号 役員の改選について

役員の改選 ~~(案)~~

理事

氏名	会員区分	再任・新任
イイジマ ホマレ 飯島 希	個人	再任
イシカワ シン 石川 真	個人	再任
カド タマキ 賀登 環	個人	再任
キクチ ミツオ 菊地 三生	個人	再任
コセ ヒロユキ 小瀬 博之	個人	再任
マスダ トモヒサ 増田 知久	個人	再任
フクハラ トキオ 福原 時夫	民間団体(埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部)	新任
ヨコヤマ ミエコ 横山 三枝子	民間団体(福原ファームクラブ)	再任
タツノ トシヒコ 辰野 聡彦	事業者(川越環境保全連絡協議会)	再任
ヤマザキ シゲル 山崎 茂	行政(川越市)	再任

監事

氏名	会員区分	再任・新任
カミヤ トシカズ 神谷 利一	個人	新任
マツオカ スガコ 松岡 壽賀子	個人	再任

議案第4号 2024年度事業計画

2024年度事業計画 ~~(案)~~

1. 2024年度の基本方針及び全体事業

2024年度は、令和7年度(2025年度)が目標年度となる「第三次川越市環境基本計画」とこれに合冊されている「川越市緑の基本計画」、また、かわごえ環境ネットが作成を担当した「川越市環境行動計画(平成29年2月改定)」の見直しに対する活動をより積極的に行うとともに、市民、事業者、民間団体と協働して進めるために、これらの計画の改定に向けた情報提供、情報収集、対話を行って行く必要があります。

一方で、長期的な視野にたった活動を行う必要がある2030年度目標としたSDGs(持続可能な開発目標)や令和3年(2021年)5月1日に川越市長が2050年脱炭素社会の実現を表明した「小江戸かわごえ脱炭素宣言」の達成に向けた周知や活動をより多方面の方を対象にして実施していく必要があります。

組織運営としては、この総会から新たな理事会体制となるとともに、専門委員会の会議やさまざまな活動の実施形態を、会員がより参加しやすいように工夫していく必要があります。これまで、会議は基本的に平日の日中に開催してきましたが、育児や仕事のことを考慮した実施日時や方法など、多様な参加者を得るためにはさまざまな工夫が必要であり、試行を重ねながらよりよい方法を見出していく必要があります。

以下に、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすること」に基づき、次の5つの事業について、全体事業を中心とした2024年度の具体的な事業を記します。

- (1) 【交流事業】11月16日(土)(予備日は翌日)に(仮称)川越市森林公園計画地を会場として「2024森フェス in 川越」を開催します。2022年度から2回実施してきた事業の反省をふまえ、より多くの参加者に川越市における貴重な自然環境を知ってもらい、その大切さを体感できるイベントを検討して実施します。

また、2025年2月下旬に「第23回かわごえ環境フォーラム」をウエスタ川越で開催します。川越市における、また川越市民を中心とした環境活動について、報告集と報告会を通じて情報共有するとともに、参加者の話し合いの場を作り、川越市の望ましい環境像の実現に向けた情報交流をさらに進めてまいります。この行事は長年開催していますが、報告会の報告者の固定化やワークショップを敬遠する方もいることから、新たな工夫が求められる状況にあります。多くの人が参加しやすい実施形態を検討して実施します。

5月25日(土)の2024年度総会後に懇親会を開催するとともに、以前実施していた新年会やかわごえ環境フォーラム後の交流会など、会員間の交流の機会を増やすことを検討します。

- (2) 【普及・啓発事業】地域のごみ削減による環境改善と持続可能な開発につながるライフスタイルの普及に資する「クリーン活動」については、主管を社会環境部会か

ら事業運営委員会に戻すとともに、実施体制や気象条件などを勘案して事業の見直しを検討した結果、4月20日（土）の（仮称）川越市森林公園計画における「春の里山 自然観察&クリーン活動」と12月22日（日）の川越中心市街地における「歳末まち美化活動」の年2回に絞り込んで実施します。

また、8月23日、24日開催の「わたしたちの雨水フォーラム in 川越」と2025年3月9日開催予定の「アースデイ川越 in 昭和の街 2025」をはじめ、川越市内外で行われる環境活動の普及・啓発イベントへ参加を検討します。

川越市（環境政策課）が主催する環境月間ポスターコンクールにおいて「環境ネット賞」を選定します。

各専門委員会において講演会や勉強会などの学習行事や対話行事を開催し、関心の高い環境問題に対する意識向上や啓発を図ります。

広報かわごえ環境ネットのコラムや報告記事を通じて環境行動の普及・啓発を図ります。

- (3) 【調査・研究事業】6月2日の川越市内河川における「川の一斉水質調査」を流域団体の参加団体として実施するとともに、可能な範囲で流域団体のその他の環境活動に協力します。

専門委員会において自主的な調査・研究・保全活動を実施するとともに、「かわごえ生き物調査」など、川越市が実施する環境調査に協力します。

さらに、「川越市環境行動計画」の推進のため、「環境に配慮した行動（チェックシート）」を、行事の来場者や会員・大学生に対して実施します。

「川越市環境基本計画」「川越市緑の基本計画」「川越市環境行動計画」の改定に向けて、現行計画の総括と見直しに向けた提案、文案等の作成を行う「川越市環境計画見直し意見交換会」を前年度に引き続き開催します。今年度は2か月に1回程度のペースでの実施を予定しています。

- (4) 【学習支援事業】学校の環境学習支援については、要請があった場合に対応し、児童・生徒の体験的な環境学習を支援します。
- (5) 【広報・情報事業】本会の広報紙として「広報かわごえ環境ネット」を隔月刊（5・7・9・11・1・3月発行）で年6回発行し、情報の蓄積と共有を図ります。また、「会員限定メールサービス」の利用者を引き続き拡大させるとともに、メールのみの会員を増加させることにより郵送費の軽減を図ります。

また、Web サイト及び各種 Web サービスの活用により、情報のデジタル化と会員内外への迅速な情報伝達を行います。

2021年2月に発行した設立20周年記念出版「新訂版 川越の自然」や202~~3~~⁴年2月に発行した「チョウから見える川越の環境－2011年～2022年の記録－」については、PDFファイルによるインターネットでの公開を行い、本会の活動成果を広く内外に伝えるとともに、川越市に関係する人や組織の川越の自然に関する関心をより高めていきます。

第23回かわごえ環境フォーラム『かわごえ環境活動報告集 2025』を発行し、川越市民、事業者、民間団体、行政の環境活動の情報集成を図ります。

川越市が発行する『令和6年度版 かわごえの環境（第8号）』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動（チ

ェックシート)」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載します。

2. 広報委員会

広報紙「広報かわごえ環境ネット」を2022年1月に創刊し、隔月刊で2022年度までに14号発行してまいりました。2024年度も引き続きA4サイズ、8ページ、フルカラー、商業印刷によるカラフルで鮮明な紙面を作成し、2024年5・6月号（No.197）から2025年3・4月号（No.202）までを隔月刊で年6回発行します。

メディアプラットフォーム「note」を用いた広報紙の記事掲載については、拡散力があるため有用性が高いのですが、広報の編集から二度手間になってなかなか手が付けられない状況となっています。引き続き掲載の可能性を検討していきます。

また、記事やイベントの伝達のために、Webサイトと並行してソーシャルネットワーキングサービス（SNS）のFacebook, X, Instagramを活用し、広範な読者、参加者を得るとともに会員の拡大を図ります。

オンラインを活用した会議や講演会などについては、必要に応じて実施します。

3. 社会環境部会

持続的な開発目標であるSDGsが一般的にも広がり、経済分野でも環境負荷をいかに減らし、社会をつくっていくかという意識が高まっています。新型コロナウイルスの世界的流行や2022年2月に始まったウクライナ危機は、資源、エネルギー、食など幅広い分野にも広く影響を及ぼしています。自然にも人にもやさしいサステナブルな社会をどのように作り、次世代にどのような風景を残していけるのか、今を生きる私たちが直面している大きな課題です。私たちが暮らす川越というまちの環境をよりよい方向に向けてイニシアチブをとっていく市民団体としてグローバルなまなざしをローカルな現実に落とし込み、市民間のつながりを結びなおし、環境アクションを試みていきます。

① 市民の環境活動活性化に向けた定例部会の見直し

社会環境部会の部会員の高齢化や減少といった課題に対処していくため、改めて組織内の目標や方向性も含めた部会の在り方について、オンラインミーティングの活用や定例会の見直しを含めて検討をすすめていきます。

② 環境対話カフェ

市民の環境意識を啓発していくため、市内の自治会等と連携をし、ゴミの出し方や地域コンポストなど身近な環境を改善していくための企画を実施予定です。

「ゴミの出し方講座」 6月末～7月

「地域コンポスト勉強会」 9月

「地域コンポストづくりワークショップ」 10月

③ 学習活動

環境講演会については、今年度は12月に開催を予定しています。私たちの身近な環境で

ある「雨」をテーマとして、雨水の利活用について学ぶ企画を計画しています。

④ コラムの充実

広報紙の社会環境部会担当コラムに関してはテーマ「社会と環境について思うこと」を継続し、各部会員が抱く問題意識や地域課題などについて発信していきます。

⑤ 全体事業への協力

2022年より実施している「森フェス in 川越」などかわごえ環境ネットの全体事業にも積極的に協力していきます。

なお、クリーン活動については、来年度は全体事業に位置付けます。

4. 自然環境部会

自然環境部会のテーマは、「生物多様性の向上 ～川越の生きものを知ろう、ふれよう、親しもう～」です。川越に残る良好な自然環境の調査と記録、そして保全・再生への取り組みです。川越には深い森はありませんが昔ながらの雑木林があります。また河川も荒川、入間川、新河岸川と大小の流域、伊佐沼などの水域があります。これらの自然要素の中に在来の生き物が生息しています。

2017年度から市が「かわごえ生き物調査」を実施しており、自然環境部会が協力し、それに伴う観察会は共催で行っています。2021年度までの成果を冊子として2022年に発行し、その後さらに調査を拡充しています。調査から得られた結果を生かすべく、今年度は川越版レッドデータブックを検討・作成する計画です。

川越でも展開されている落ち葉堆肥農法が「世界農業遺産」に指定されましたが、それを支える雑木林は減る一方で、おまけにナラ枯れの被害で既存の林も劣化しています。雑木林の自然再生についても取り組みが必要と思われます。人も生き物も自然に依拠しており、生物多様性保全は気候変動と深くかかわっています。世界の動きは2030年までの「ネイチャーポジティブ」、「30by30」の実現を目標にしています。日本でも昨年3月に新しい生物多様性国家戦略が発表されました。実現に向かい川越市でも努力が求められます。

(1) 行政とのパートナーシップ

市の行う「かわごえ生き物調査」に協力します。調査データの提供とともに生き物観察会を共催します。調査結果を分析し、川越なりの希少種について検討の予定です。また引き続き、次期環境基本計画・緑の基本計画についての提言の予定です。

(2) 調査・保全再生活動

定例で行っているのは「(仮称)川越市森林公園」計画地、池辺公園です。調査を定点的に行っているのは寺尾調節池周辺、川越水上公園、安比奈親水公園、伊佐沼周辺などです。今年度はさらに調査範囲や視点を検討し、希少種についての調査を拡充します。そのうえで川越版レッドデータブックを作成する予定です。

福原南部の「ふるさとの緑の景観地」の自然再生にも取り組む予定です。また、「(仮

称) 川越市森林公園」計画地では「川越フォレストクラブ」との協働で生態的な手入れが効率的にできるようになりました。ナラ枯れ被害が見られる雑木林の再生は既存の実生木を生かすなど、持続可能な方策を検討します。

(3) 自然観察会

今年度は市、他団体との共催も含めて「キノコの観察会」、「虫の観察会」、「水上公園生き物観察会」、「キタミソウ観察会」を予定しています。

(4) イベント

「小畔川の自然を考える会」と共催の「小畔川魚とり遊び」、NPO 法人「かわごえ里山イニシアチブ」と共催の「田んぼの生き物調査」を実施予定です。また、全体行事の「森フェス in 川越」にも協力します。

(5) 研修会

講師を招いての昆虫、植物などの現地研修会を予定しています。

自然環境部会 2024年度事業計画

生物多様性保全の向上

～川越の生き物を知ろう、ふれよう、親しもう～

項目	実施内容	実施場所・時期
1. 行政とのパートナーシップ	川越市の「かわごえ生き物調査」や関連イベント協力	イベント予定（昨年までの例） ・8月上旬 川森「虫の観察会」 ・9月 川越水上公園「生き物の観察会」 ・10月 古谷湿地さかな観察会 ・3月 川森「生き物の観察会」
2. 調査・保全活動 自然再生活動	① 雑木林などの調査・保全 ② 自然再生活動 ③ 生き物調査 ④ 勉強会 ⑤ 川越版レッドデータブックの作成	・「(仮称)川越市森林公園」計画地 毎月第2、4月曜日 ・池辺公園 毎月第2火曜日 ・下赤坂ふるさとの緑の景観地など ・焦点をしぼる (定点調査、希少種の確認調査など) ・調査から見える課題に沿って
3. 自然観察会 イベント	① 「キノコの観察会」 ② 「田んぼのいきもの調査」 ③ 「虫の観察会」 ④ 「小畔川魚とり遊び」 ⑤ 「キタミソウ観察会」	・「(仮称)川越市森林公園」計画地 7月7日(日) ・福田地区の有機田んぼ 7月6日(土)「かわごえ里山イニシアチブ」と共催 ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 8月上旬(土日) 市と共催 ・小畔川かほく運動公園前親水ゾーン 9月中旬「小畔川の自然を考える会」と共催 ・伊佐沼 11月3日(日) 生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部と共催
4. 学校教育支援	要請があれば対応	
5. 法令勉強会	次期環境基本計画・緑の基本計画への提案、提言のために新たな生物多様性保全のあり方、環境配慮指針の検討	
6. 全体活動	① 「春の里山 自然観察&クリーン活動」 ② 川の全国一斉水質検査 ③ 「2024森フェスin川越」 ④ 第23回かわごえ環境フォーラム	・「(仮称)川越市森林公園」計画地 4月20日(土) ・荒川水系 6月2日(日)周辺 ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 11月16日(土) 予備日17日(日) ・2月下旬実施予定
7. 情報発信	広報紙、ホームページを中心に	

議案第5号 2024年度予算

2024年度予算 (案)

1 収入

(単位：円)

項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
会費		239,000	247,000	△ 8,000	
	年会費	239,000	247,000	△ 8,000	(個人1,000円×141人、団体2,000円×49団体)
負担金		10,000	16,000	△ 6,000	
	参加者 負担金	10,000	16,000	△ 6,000	森フェス、自然観察会
補助金		360,000	360,000	0	
	川越市 補助金	360,000	360,000	0	川越市からの補助金
協賛金		100,000	100,000	0	
	協賛金	100,000	100,000	0	かわごえ環境フォーラム協賛金(4者)
繰越金		154,934	232,540	△ 77,606	
	前年度 繰越金	154,934	232,540	△ 77,606	前年度繰越金
諸収入		35,002	35,002	0	
	預金利子	2	2	0	預金利子
	雑入	35,000	35,000	0	川越の自然(新訂版)頒布700円×50冊
助成金		0	0	0	
	助成金	0	0	0	
合 計		898,936	990,542	△ 91,606	

2 支出

項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
事業費		853,500	866,000	△ 12,500	全体359,500円、広報243,000円 社会環境82,000円、自然環境169,000円
	報償費	184,000	216,000	△ 32,000	講師謝金
	旅費	3,000	3,000	0	環境講演会講師打合せ
	需用費	436,500	410,000	26,500	環境活動報告集・消耗品・印刷製本費等
	役務費	152,000	140,000	12,000	広報紙・同封資料等送料、保険料等
	使用料及び 賃借料	78,000	97,000	△ 19,000	会場使用料
事務費		22,000	32,000	△ 10,000	
	旅費	2,000	2,000	0	加盟団体総会参加
	需用費	1,000	1,000	0	文房具等
	役務費	10,000	20,000	△ 10,000	総会返信はがき等
	負担金	9,000	9,000	0	加盟団体年会費(環境ネットワーク埼玉ほか)
予備費		23,436	92,542	△ 69,106	
	予備費	23,436	92,542	△ 69,106	
合 計		898,936	990,542	△ 91,606	

かわごえ環境ネット会則

(名称)

第1条 この会は、かわごえ環境ネット（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ・ 会員相互のパートナーシップとネットワークを形成するための事業に関する事。
- ・ 会員それぞれが役割を理解し協働して行う事業に関する事。
- ・ 環境に関する情報提供及び普及啓発に関する事。
- ・ その他目的達成のために必要な事業に関する事。

(会員)

第4条 会員は、本会の目的に賛同して入会した次のものとする。

- ・ 市内に在住または在勤の個人
- ・ 市内で環境に関する活動をしている又はこれから活動しようとしている構成員が5人以上の民間団体
- ・ 市内に所在する事業所及び事業所を構成員とする団体
- ・ 川越市
- ・ その他理事会で承認されたもの

(会費)

第5条 会費は、年会費1口金1,000円とし、次のとおり定める。

- ・ 個人 1口
- ・ 民間団体 2口
- ・ 事業所 2口
- ・ 川越市 2口
- ・ その他 理事会の決定による。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- ・ 理事長 1人
- ・ 副理事長 2人
- ・ 理事（理事長及び副理事長を含む。） 20人以内
- ・ 監事 2人

2 理事長は、本会を代表するとともに、業務を統括する。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるときは、その職務を代理する。この場合において、職務を代理する副理事長の順序は、あらかじめ理事長が指定するものとする。

4 理事は、理事会を構成し、会則の規定及び理事会の議決に基づき、本会の業務を執行する。

5 監事は、本会の業務の執行状況を監査する。

6 理事及び監事は会員の中から総会で決定し、理事長及び副理事長は理事の互選により定める。ただし、理事が欠けた場合の後任の理事については、理事会で決定することができる。

7 役員任期は、2年とする。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

8 役員再任は妨げない。

(総会)

第7条 総会は、本会の最高議決機関とし、年1回以上開催する。

2 総会は、理事長が招集し会員の半数の出席をもって成立する。

3 総会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 総会は、次の事項を審議し、決定する。

- ・ 事業計画、予算に関する事。

- ・ 事業報告、決算に関すること。
- ・ 役員の選出に関すること。
- ・ 会則の改正に関すること。
- ・ その他理事会で必要と認めたこと。

(理事会)

第8条 理事会は、次の事項を審議し、決定する。

- ・ 総会議案に関すること。
- ・ その他本会の運営に関して必要な事項

2 理事会は、理事長、副理事長及び理事をもって構成する。

3 理事長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 理事会は、理事長が招集する。

5 理事会は、理事の半数以上の出席をもって成立する。

6 理事会の議事は、出席理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 監事は理事会に出席し、必要に応じて意見を述べるができる。

(総会及び理事会における書面表記等)

第9条 やむを得ない理由により、総会に出席できない会員は、他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、第7条第2項及び第3項の規定の適用については、出席したもののみなす。

2 前項の規定は、理事会について準用する。この場合において、同項中「総会」とあるのは「理事会」と、会員とあるのは「理事」と、「第7条第2項及び第3項」とあるのは「前条第5項及び第6項」と読み替えるものとする。

(専門委員会)

第10条 各会員の主体的活動を促進し、第2条の目的を達成するため、専門委員会を設置することができる。

2 専門委員会の設置は、理事会が決定する。

3 専門委員会の運営は、各委員会が自主的に行う。

4 専門委員会は、活動状況を随時理事会に報告する。

(事務局)

第11条 本会の事務局は、川越市環境部内に置き、庶務及び会計事務を処理する。

(会計及び会計年度)

第12条 本会の運営に要する経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会則の改正)

第13条 この会則は、総会の議決により改正することができる。

(委任)

第14条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この会則は、平成12年8月5日から施行し、会費については平成13年度から適用する。

附 則

この会則は、平成16年6月5日から施行する。

附 則

この会則は、平成19年5月26日から施行する。

附 則

この会則は、平成26年5月24日から施行する。

附 則

この会則は、平成29年5月27日から施行する。

会員情報

(2024年4月22日時点)

個人会員 140 名

団体会員 49 団体 (右表参照)

計 189 会員

No.	会員区分	団体・事業所等の名称
142	民間団体	入間川にサケを放す会
143	民間団体	EMネットワークはつかり
144	民間団体	NPO 法人川越蔵の会
145	民間団体	NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ
146	民間団体	川越市自治会連合会
147	民間団体	川越市老人クラブ連合会川鶴支部
148	民間団体	川越中央ロータリークラブ
149	民間団体	川越フォレストクラブ
150	民間団体	川越緑のサポーター
151	民間団体	川越ワイズメンズクラブ
152	民間団体	小畔川の自然を考える会
153	民間団体	埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部
154	民間団体	(公財) 埼玉YMC A川越センター
155	民間団体	新河岸川を守る会
156	民間団体	新日本婦人の会川越支部
157	民間団体	東洋大学小瀬研究室
158	民間団体	福原ファームクラブ
159	民間団体	福原水と緑の会
160	民間団体	不老川を守る会
161	民間団体	南の会
162	民間団体	NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
163	民間団体	ムサン航空連盟 (MKR)
164	事業者	株式会社東興業
165	事業者	アトレテナント会
166	事業者	いいことクリエイション合同会社
167	事業者	会計スタッフサービス株式会社
168	事業者	川越環境保全連絡協議会
169	事業者	川越市角栄商店街振興組合
170	事業者	川越総合卸売市場株式会社
171	事業者	川越緑地協会
172	事業者	株式会社環境総合研究所
173	事業者	着物レンタル梨花和服 川越店
174	事業者	行政書士 栗原誠オフィス
175	事業者	経営懇話会
176	事業者	昭和工業株式会社
177	事業者	第一生命保険株式会社 川越支社
178	事業者	第一電装部品株式会社
179	事業者	ダイキエンジニアリング株式会社
180	事業者	通信興業株式会社
181	事業者	テイ・エステック株式会社埼玉工場狭山製造部
182	事業者	東京国際大学
183	事業者	バイオニア株式会社 川越事業所
184	事業者	初雁興業株式会社
185	事業者	初野建材工業株式会社
186	事業者	武州ガス株式会社
187	事業者	株式会社マーレフィルターシステムズ
188	事業者	増田総業株式会社
189	事業者	株式会社ミカミ・アイエヌジー
190	行政	川越市



【事務局】

川越市環境部環境政策課

所在地 〒350-8601 川越市元町 1-3-1

電話 224-5866

FAX 225-9800